

長引く不況…激増

消費者金融や信販会社などから借金
を重ねて返済に苦しむ多重債務者が激
増し、150万人とも200万人ともいわれ
る状況になっている。国民の60-80人
に1人は多重債務者という計算だ。高

金利の借金に対して警戒感が薄れてい
ることや、長く続く不況など、さまざ
まな要因が絡み合った構造的な問題。
解決への道はないのか探っていく。
(白井 康彦)

多重債務者列島

どうする

自転車操業 返済日の多さが心理圧迫

「体面」守らず、まず相談

体面守らず、まず相談

「体面」守らず、まず相談。返済日の多さが心理的圧迫を及ぼす。相談は、まず専門家に相談し、返済計画を立てる。返済計画を立てるには、収入と支出を把握し、返済可能な額を算出する。返済計画を立てるには、収入と支出を把握し、返済可能な額を算出する。



多重債務者の救済を目指す市民団体の相談
会が各地で開かれてい。名古屋市内で

ある自治体の借り入れ・返済ドキュメント
(昨年前半分、単位は円)

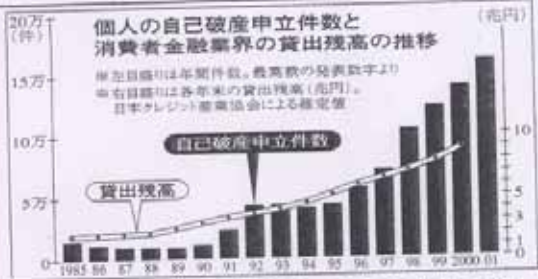
月別	借入総額	返済総額
1-5	15000(A社)	
1-10	7000(B社)	
1-11	3000(B社)	14500(D社)
	7000(D社)	
	4000(B社)	
1-31		22000(B社)
		25000(C社)
		14000(E社)
		5000(F社)
2-5	3000(B社)	10000(A社)
	3000(E社)	
2-13		15000(D社)
2-24	7000(D社)	
2-28		15000(A社)
		22000(C社)
		15000(E社)
		5000(F社)
		10000(F社)
3-5	9000(A社)	
	6000(B社)	
	3000(F社)	
3-7		24000(B社)
3-13	5000(B社)	
3-18	7000(D社)	14000(D社)
4-2		11000(A社)
		22000(C社)
		15000(E社)
		5000(F社)
		23000(B社)
		15000(D社)
4-10		
4-16		
4-29	8000(D社)	
4-30	4000(B社)	
5-1		25000(C社)
5-2		11000(A社)
		5000(F社)
5-7	3000(A社)	12000(E社)
	6000(B社)	
	3000(E社)	
5-11	3000(B社)	
5-12	4000(E社)	
5-16	5000(B社)	25000(B社)
	7000(D社)	14000(D社)
5-31		12000(A社)
		25000(C社)
		15000(E社)
		5000(F社)
6-2		
6-14	3000(A社)	
	5000(E社)	
6-18	12000(D社)	20000(D社)
6-20		25000(B社)
6-23	5000(B社)	

かなあした

返済計画を立てるには、収入と支出を把握し、返済可能な額を算出する。返済計画を立てるには、収入と支出を把握し、返済可能な額を算出する。

返済計画を立てるには、収入と支出を把握し、返済可能な額を算出する。返済計画を立てるには、収入と支出を把握し、返済可能な額を算出する。

ご意見・情報をお寄せください
郵便 〒460-0511 中日新聞生活部
ファクス052(222)5284
電子メールwashita@chunichi.co.jp
※添付ファイルは受け付けません
※住所・電話番号を明記して
ください



多重債務者は、多重債務に陥ったままあまり話さず、世間では問題の深刻さや気が付く人は少ないが、さまたまな統計に多重債務者の急増が反映されているようになってきた。

第一は、裁判所への自己破産の申立件数。この手続の中で負債が認められれば債務が解消し、なる。債務者として、昨年と比べて約半分の自己破産申立件数は百万四五千七十七件、一九九九年は九千四百九十件にすぎず、十三年で約七倍に増えた(下の参照)。

消費者金融で安易に



多重重債務者は、多重重債務に陥ったままあまり話さず、世間では問題の深刻さや気が付く人は少ないが、さまたまな統計に多重債務者の急増が反映されているようになってきた。

第一は、裁判所への自己破産の申立件数。この手続の中で負債が認められれば債務が解消し、なる。債務者として、昨年と比べて約半分の自己破産申立件数は百万四五千七十七件、一九九九年は九千四百九十件にすぎず、十三年で約七倍に増えた(下の参照)。

り、年間で二万件を越え、昨年は一九九九年の二万五千六百五十五件の半が強い、と見られていた。

同様の傾向がみられるのが消費者金融界の貸出残高。日本クレジット産業協会が発表している。昨年末の推定値は、八五〇億円に達した(下の参照)。

現在、多重債務者の借入先で一番多いのは消費者金融。全国で千四百三十八件、昨半前半が五十九件と急増していた。

女性の多重債務者の情勢的立ち直りを支援して、東京に「カ所あるだけ。日本消費者連協が債務者の心理的なケアを重視して相談に乗り出すことも、東京天原の二五所だ。

り、年間で二万件を越え、昨年は一九九九年の二万五千六百五十五件の半が強い、と見られていた。

同様の傾向がみられるのが消費者金融界の貸出残高。日本クレジット産業協会が発表している。昨年末の推定値は、八五〇億円に達した(下の参照)。

現在、多重債務者の借入先で一番多いのは消費者金融。全国で千四百三十八件、昨半前半が五十九件と急増していた。

女性の多重債務者の情勢的立ち直りを支援して、東京に「カ所あるだけ。日本消費者連協が債務者の心理的なケアを重視して相談に乗り出すことも、東京天原の二五所だ。

14年 6/27 (2)

手軽…誘惑に負け

多量債務者が増えているのはなぜか。それは、消費信用の普及による。消費信用は、消費者が商品やサービスの購入に際して、現金や銀行口座の残高を消費せずに、消費信用会社から借入して購入する。消費信用会社は、その半額を現金で貸し出し、残りの半額は、消費者が返済する。消費信用会社は、返済の滞りが発生した場合、消費者の住所や勤務先などの情報を提供し、債権回収を行う。消費信用会社は、返済の滞りが発生した場合、消費者の住所や勤務先などの情報を提供し、債権回収を行う。

多量債務者列島

借金返済者列島

借金の自動販売機 カードで次から次と

借金の自動販売機 カードで次から次と

高金利なのに感覚まひ



高金利なのに感覚まひ

高金利なのに感覚まひ

借金の自動販売機 カードで次から次と

借金の自動販売機 カードで次から次と

借金の自動販売機 カードで次から次と

限度額いっぱいまで借り続ける人のモデル例
 (限度額50万円、年利25.27%＝日利0.08%、
 毎月2万円返済として試算、単位・円)

取引日	借入れ	返済金	返済利息	返済元金	借入残高
1月4日	500,000				500,000
2月3日		20,000	12,000	8,000	482,000
2月3日	8,000				500,000
3月5日		20,000	12,000	8,000	482,000
3月5日	8,000				500,000
4月4日		20,000	12,000	8,000	482,000
4月4日	8,000				500,000

返済利息＝残高(500,000円)×日利(0.08%)
 ×経過日数(30日)＝12,000円
 返済元金＝返済金(20,000円)
 -返済利息(12,000円)＝8,000円

かなあした

かなあした

かなあした

多量債務者に陥ったある主婦は、消費者金融、債権会社で計10枚のカードを持っていて

多量債務者に陥ったある主婦は、消費者金融、債権会社で計10枚のカードを持っていて

多量債務者に陥ったある主婦は、消費者金融、債権会社で計10枚のカードを持っていて

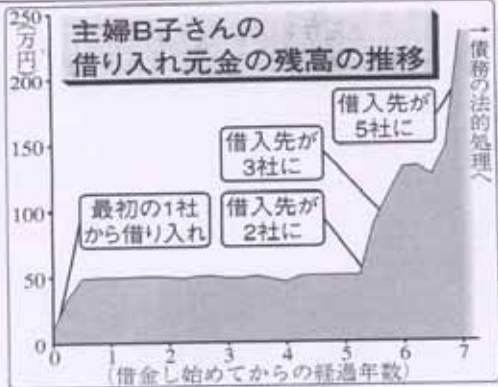
高金利なのに感覚まひ

高金利なのに感覚まひ

ご意見・情報をお寄せください

ご意見・情報をお寄せください

乏しい危険性の情報



消費生活協会の債権
会社の取引経過を不
資料を多額集めた二十人
から提供してもらった。
最初の借入先から利用限
度いっぱい借り続け、
その後、多額債権に陥っ
ていくのが目立つ。
例えば、最近、債務の
法的処理を求めた
主婦Bさん。大学の消
費生活協会の借入初
十方向借り入れ、借り増
として、半信半疑に借
入元金の残高は借入額
の五十万円程度の少し
下回る金額に
返済して申元が少し
度、過度に借入の
ことを繰り返すので、五
年三回返済済みの債権

利便性向上 イメチェン 弱まる心理的歯止め

社目から借入、その後はさらに借りてくる。こう
早いペースで借入先が五社に二重借りしてしまっ
た。増える。典型的な多額債権に陥るシロセ
重債権者になった。シロセを消費生活協会の不
慮で借入した。シロセの借入額は
の借入額が九十九万五千四百十六円。その
九十九万円以内、つまり借入額が九十九万円
返済の金額は九十九万五千四百十六円。五
五万円の借入額より多額な金額だ。工場ほど前
に、返済元金が多額に返済された初期の
約五十万円以内である。返済が滞った初期の
返済。返済が滞った初期の約五十万円以内
は、返済額の中に二重返済があった。その
六十九万五千四百十六円と二重返済が、確定
円分の返済額が三十九万四千二百四十円に
ているのが、借入先、借入元金の前回の心算
利の返済が返済額の重なり、返済の心算

その後、消費生活協会の返済の危険性を
解は、顧客の利便性向上と返済の危険性を
やイメージアップの企業としての法的処理の
努力が理解され、大抵、消費生活協会の
手当ては九年前から削減
いで株式公開。新聞や
て「シロセ」は「シロセ」
消費生活協会の取引のフ
金も借入の多額「シロセ」
消費生活協会の取引のフ
シロセ」は「シロセ」
新聞でも、消費生活協
配は少ない。
「シロセ」は「シロセ」

消費生活協会の取引のフ
金も借入の多額「シロセ」
消費生活協会の取引のフ
シロセ」は「シロセ」
新聞でも、消費生活協
配は少ない。
「シロセ」は「シロセ」
消費生活協会の取引のフ
金も借入の多額「シロセ」
消費生活協会の取引のフ
シロセ」は「シロセ」
新聞でも、消費生活協
配は少ない。
「シロセ」は「シロセ」

「家族に内証」が悪循環

「内証」に陥ったA子

多量債務問題を生産面を通じてA子も、読者からの多くの情報が寄せられている。中でも目玉は「家族に内証」して消費を繰り返す信用取引から借金を重ねたケースだ。返済が滞り出すと「家族に知られてしまう」との強迫観念から、内証を繰り返して返済目録を隠す。そして、家族に知られると深刻な家庭内トラブルとなる。A子、内証の借金が膨らんでいく姿の文だ。

原簿の千代の女性
A子さんは「夫が内証」
を繰り返して返済が滞り出すと「家族に知られてしまう」との強迫観念から、内証を繰り返して返済目録を隠す。そして、家族に知られると深刻な家庭内トラブルとなる。A子、内証の借金が膨らんでいく姿の文だ。

どつする 多重債務者 列島

読者から情報相次ぐ

家族に内証で借金を多量債務に陥ったという女性も、債務を整理するために簡易裁判に出した調停の申立書



犯罪に走るケースも

「内証」の借金が膨らんでいく姿の文だ。A子さんは「夫が内証」を繰り返して返済が滞り出すと「家族に知られてしまう」との強迫観念から、内証を繰り返して返済目録を隠す。そして、家族に知られると深刻な家庭内トラブルとなる。A子、内証の借金が膨らんでいく姿の文だ。

「内証」の借金が膨らんでいく姿の文だ。A子さんは「夫が内証」を繰り返して返済が滞り出すと「家族に知られてしまう」との強迫観念から、内証を繰り返して返済目録を隠す。そして、家族に知られると深刻な家庭内トラブルとなる。A子、内証の借金が膨らんでいく姿の文だ。

「内証」の借金が膨らんでいく姿の文だ。A子さんは「夫が内証」を繰り返して返済が滞り出すと「家族に知られてしまう」との強迫観念から、内証を繰り返して返済目録を隠す。そして、家族に知られると深刻な家庭内トラブルとなる。A子、内証の借金が膨らんでいく姿の文だ。

電話で解決
052(221)0999
平日午前10時～午後7時
FAX052(222)2294
(24時間受付77777)

多量債務問題を生産面を通じてA子も、読者からの多くの情報が寄せられている。中でも目玉は「家族に内証」して消費を繰り返す信用取引から借金を重ねたケースだ。返済が滞り出すと「家族に知られてしまう」との強迫観念から、内証を繰り返して返済目録を隠す。そして、家族に知られると深刻な家庭内トラブルとなる。A子、内証の借金が膨らんでいく姿の文だ。

「内証」の借金が膨らんでいく姿の文だ。A子さんは「夫が内証」を繰り返して返済が滞り出すと「家族に知られてしまう」との強迫観念から、内証を繰り返して返済目録を隠す。そして、家族に知られると深刻な家庭内トラブルとなる。A子、内証の借金が膨らんでいく姿の文だ。

多重債務モデル式の説明

多重債務に陥っていく過程での借入金や返済金、その中の利息や元金はどんな具合になっているのか。それを考えるためのモデル式を考えてみた。

多重債務者のほとんどはカードローン方式の便利さに「はまった」人たちである。消費者金融業界では、借入限度額50万円、毎月の最低返済額2万円という設定がポピュラー。年利26%程度として、残高50万円のときの利息は約11000円。最初50万円を借りたことにして、1カ月の利息は11000円とする。多重債務に陥るパターンで目立つのは、毎月の返済をして借入限度額に空きができたなら、その分だけまた借りるというものだ。いつも、ほぼ限度額いっぱいを借りているという状態だ。モデルでは分かりやすくするため、毎月2万円返済して、そのうちの利息が11000円、元金返済分が9000円とし、その分だけ限度額に空きができたのですぐに9000円借りる、ということにした。

1社目に借りたちょうど1年後に2社目に50万円借りて同じパターンを踏襲。次の1年後にまた3社目から50万円借りて、同じことを繰り返すということにした。このパターンを繰り返し、最初の借り入れから7年たったところで7社目に借り入れようとして断られたという想定。ここで、弁護士や司法書士に相談するという仮定だ。

モデル式をよく見てほしい。3つのポイントが浮かんでいる。・最初のうちに貸した会社は、貸出金より返済金の方が多くなっている。この多重債務者が破産したとしても、単純に「貸した金」「返してもらった金」というだけで考えると、貸した側は損した訳ではない。後の方で貸した会社はかなり損をしているケースもある。最初のうちに貸す会社は絶対的に有利である。最初のうちに借りてもらえるのは、大量のテレビCMを流す大手。大手に利益が集中する。最初のうちに貸す大手と後の方で貸す準大手や中堅会社とで、それほど貸出金利に差がない現状は不自然極まりない。

・6年間、6社分を合計した総合計の数字が右下隅にある。借入金は526万8000円、返済金は504万円。借り入れた金額とそれほど変わらない金額を返済しているわけだ。しかし、返済金の中の利息額が大きく元金分は226万8000円しかない。そのため、300万円の残高が残っている。300万円の残高があつて破産する人を世間の多くの方は「借りまくって返さない悪い奴」と思っているが、実際には「金利がゼロなら完済していた」といった人も多い。

・最初の1年間、次の1年間という具合に毎年の借入金と返済金の合計をしてみる。最初のうちは借りた金額より返済した金額の方がかなり少ないが、後の方の3年間は借りた金額より返済した金額の方が多くなっている。それでも、借金の残高は膨らんでいく。後の方の時期には、家計は苦しくなる一方。このころに任意整理や特定調停といった解決策も取れるのに、多くの方は「借りられる間、どうにかこうにか返済できる間は頑張る」という行動パターンを取る。冷静に考えると、多重債務者になる典型的なパターンというのは、おそろしいほどの「愚行」である。その愚行が蔓延している現状は信じられないくらいにおかしい。

	内訳	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	合計
A社	借入金	608000	108000	108000	108000	108000	108000	1148000
	返済金	240000	240000	240000	240000	240000	240000	1440000
	うち利息	132000	132000	132000	132000	132000	132000	792000
	うち元金	108000	108000	108000	108000	108000	108000	648000
B社	借入金		608000	108000	108000	108000	108000	1040000
	返済金		240000	240000	240000	240000	240000	1200000
	うち利息		132000	132000	132000	132000	132000	660000
	うち元金		108000	108000	108000	108000	108000	540000
C社	借入金			608000	108000	108000	108000	932000
	返済金			240000	240000	240000	240000	960000
	うち利息			132000	132000	132000	132000	528000
	うち元金			108000	108000	108000	108000	432000
D社	借入金				608000	108000	108000	824000
	返済金				240000	240000	240000	720000
	うち利息				132000	132000	132000	396000
	うち元金				108000	108000	108000	324000
E社	借入金					608000	108000	716000
	返済金					240000	240000	480000
	うち利息					132000	132000	264000
	うち元金					108000	108000	216000
F社	借入金						608000	608000
	返済金						240000	240000
	うち利息						132000	132000
	うち元金						108000	108000
合計	借入金	608000	716000	824000	932000	1040000	1148000	5268000
	返済金	240000	480000	720000	960000	1200000	1440000	5040000
	うち利息	132000	264000	396000	528000	660000	792000	2772000
	うち元金	108000	216000	324000	432000	540000	648000	2268000

実際の取引経過資料に基づく計算結果の説明

現実の多重債務者の借入れ、返済のパターンを多重債務者だった人たちに取引経過資料を提供してもらって分析した。大手、準大手、中堅と表記してあるのは消費者金融会社。債務者に渡される取引経過の資料に不備があるケースもあり、一部に推定値が入っている。ここに示している事例は、取引期間が長めであることに注意する必要がある。・取引期間が長めの多重債務者には総借入金よりも総返済金の方が多い人が多い・債務者に最初のうちに貸す会社は貸出金より返済金の方は多いケースが多い という点分かる。こうした取引経過資料に基づいた分析は困難ではない。多くの人が行い、多重債務者の実像に迫ってほしい。

(一郎さん = 取引終了 年3月)							
順位	借入先	取引開始	借入金	返済金	うち元金	うち利息	残元金
	大手B社	大手C社	大手E社	大手D社	総合計		
	年3月	年2月	年5月	年・月			
	7217000	1790000	3016000	3533000	15556000		
	8489702	2466501	3636312	4172613	18765128		
	6217360	1190612	2516000	2933149	12857121		
	2272342	1275889	1120312	1239464	5908007		
	999640	599388	500000	599851	2698879		

(二郎さん = 取引終了 年3月)									
順位	借入先	取引開始	借入金	返済金	うち元金	うち利息	残元金	総合計	
	大手B社	大手A社	中堅L社	大手E社	準大手H社	信販c社	信販a社	信販b社	総合計
	年・月	年1月	年2月	年3月	年5月	年・月	年・月	年・月	
	1269000	1019000	764910	467762	569000	463000	500000	400000	5452672
	1820000	1286000	1025290	490000	422000	307000	284925	471106	6106321
	660809	380960	346050	74334	69466	106892	110455	299288	2048254
	1159191	905040	679240	415666	352534	200108	174470	171818	4058067
	608191	638040	418860	393887	499534	356108	389545	100712	3404877

(三郎さん = 取引終了 年9月)							
順位	借入先	取引開始	借入金	返済金	うち元金	うち利息	残元金
	大手E社	大手D社	大手B社	準大手G社	準大手H社	総合計	
	年9月	年1月	年5月	年6月	年4月		
	4066000	1267000	1073000	2081000	964000	9451000	
	4795730	1707702	1228000	2230659	1080000	11042091	
	3516429	875819	573473	1581974	490542	7038237	
	1279301	831883	654527	648685	589458	4003854	
	549571	391181	499527	499026	473458	2412763	

(四郎さん = 取引終了 年3月)							
順位	借入先	取引開始	借入金	返済金	うち元金	うち利息	残元金
	大手C社	大手B社	大手D社	準大手H社	準大手G社	総合計	
	年8月	年・月	年3月	年5月	年6月		
	1366000	778491	795000	651575	862000	4453066	
	2296000	978740	1013030	690000	936000	5913770	
	969549	477031	483194	316503	731015	2977292	
	1326451	501709	529836	373497	204985	2936478	
	396451	301460	311806	335072	130985	1475774	

(五郎さん = 取引終了 年3月)							
順位	借入先	取引開始	借入金	返済金	うち元金	うち利息	残元金
	準大手G社	準大手I社	大手B社	大手D社	準大手J社	総合計	
	年・月	年4月	年1月	年8月	年・月		
	6395413	5182000	3857305	540000	1210000	17184718	
	8006021	6146601	4285971	380000	646000	19464593	
	5235003	4945835	3015602	224584	311583	13732607	
	2771018	1200766	1270369	155416	334417	5731986	
	1160410	236165	841703	315416	898417	3452111	

(六郎さん = 取引終了 年・月)							
順位	大手C社	大手B社	大手D社	大手A社	大手E社	準大手K社	総合計
取引開始	年5月	年8月	年5月	年7月	年・月	年5月	
借入金	2762830	3315000	1052000	890000	1453000	570000	10042830
返済金	4724343	4568729	1265655	1043000	1492567	374000	13468294
うち元金	1994258	2515142	752994	490243	953000	272933	6978570
うち利息	2730085	2053587	512661	552757	539567	101067	6489724
残元金	768572	799858	299006	399757	500000	297067	3064260

(七郎さん = 取引終了 年8月)							
順位	準大手G社	大手D社	中堅P社	準大手J社	中堅N社	中堅O社	総合計
取引開始	年9月	年1月	年・月	年1月	年2月	年5月	
借入金	1986795	759435	1354544	943659	1351359	794000	7189792
返済金	3011547	1619531	2367018	1607000	1408746	809000	10822842
うち元金	1536795	373380	1131544	593659	948821	309339	4893538
うち利息	1474752	1246151	1235474	1013341	459925	499661	5929304
残元金	450000	386055	223000	350000	402538	484661	2296254

(八郎さん = 取引終了 年6月)									
順位	信販d社	信販a社	大手A社	中堅M社	大手C社	大手E社	準大手G社	準大手F社	総合計
取引開始	年12月	年5月	年6月	年5月	年6月	年8月	年6月	年8月	
借入金	2989407	1530000	3399000	2725933	1205406	1545000	1489000	785000	15668746
返済金	3595243	1871441	4103000	2906091	1214000	1631691	1443000	727000	17491466
うち元金	2539407	1030000	2455069	2212307	706489	1045000	789601	485237	11263110
うち利息	1055836	841441	1647931	693784	507511	586691	653399	241763	6228356
残元金	450000	500000	943931	513626	498917	500000	699399	299763	4405636

参考

ウェブもりおか【特集】多重債務（2007年9月1日号2～3ページ）

<http://www.city.morioka.iwate.jp/02kikaku/koho/kohomorioka/070901/02.html>

神奈川県ホームページ 神奈川県の多重債務者問題への取り組み

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/syohi/joho/saimu/support.html>